



プレスリリース

札幌商工会議所 定期景気調査（2月）の結果について

札幌商工会議所では、会員企業を対象に毎月各業界の業況等を調査し、景況把握に活用しております。

この度、2026年2月分調査を取りまとめましたので、ご報告いたします。

<調査概要>

- 調査内容：【毎月調査】 ①2月の業況と先行き見通し
【付帯調査】 ②法務対応（契約書等の作成・チェック、法令遵守体制の構築等）の状況
③取引適正化（価格協議・価格交渉の課題、知財に関する取引等）の状況
※日本商工会議所 LOBO 調査と同様

○調査期間：2026年2月2日(月)～2月16日(月)

○調査対象：札幌商工会議所会員企業のうち743社

○有効回答数：357社

○調査結果概要：

- ①2月の業況と先行き見通し：全産業合計の業況DIは▲5.9と、前月から0.5ポイント悪化。先行き見通しDIは▲9.2と悪化の見込み。
- ②法務対応（契約書等の作成・チェック、法令遵守体制の構築等）の状況について、法務担当者の設置状況、外部サービスの活用状況について、「経営者が対応」が44%と最多となり、ついで「顧問弁護士が対応」と「兼任の担当者を設置」が多い結果となった。また、課題として「ノウハウの不足」が40.9%と最多となっており、ついで「人材の不足」と「人材育成が困難」となっており、法務対応に関する人材の不足や育成について課題と感じている企業が多い結果となった。
- ③取引適正化（価格協議・価格交渉の課題、知財に関する取引等）の状況について、「価格協議、価格交渉における課題がある」企業は34.0%と前回より10.5ポイント増加と、価格協議、価格交渉において課題を持っている企業の割合が増加した。また、知的財産に関する侵害行為を「経験がある」と答えた企業が25.9%と前回調査時より10.1ポイント増加した。

※調査結果詳細は別添資料をご参照ください。

札幌商工会議所定期景気調査（過去の当所調査結果をご覧ください）

https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/10/details/post_51.html

日本商工会議所 LOBO 調査 <https://cci-lobo.jcci.or.jp/>

日本商工会議所では、各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を全国ベースで毎月調査する

「商工会議所 LOBO 調査」を実施し、その結果を集計・公表しています。

※LOBOとは「CCI (CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY) –QUICK SURVEY SYSTEM OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK」（商工会議所早期景気観測）からとった略称。



<本件担当>

札幌商工会議所 企画広報部 企画課

TEL：011-231-1360 E-mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp